

## 後期研修プログラム 消化器内科(第二内科)

【卒後3年目を対象としたプログラム】

# 多様な人材が集う最高のチーム

### 《消化器内科の紹介》

和歌山県がん診療連携拠点病院として、関連施設などから主として「がん」症例が多く紹介されており、「がんの診断・治療」に多くの精力を傾けています。胃がん・肝臓がん・膵がんなどに対して、消化管・肝臓・胆膵の3診療グループを設けて対応しています。消化器病専門医13名、消化器内視鏡専門医13名、超音波専門医3名、肝臓専門医7名、胆道学会指導医1名を有し、全領域においてトップクラスの診療実績があります。抗がん剤による化学療法や放射線治療といった集学的治療のエキスパートであるがん治療認定医も多く在籍しています。

胃がん・大腸がんに対する内視鏡的粘膜切開剥離術(ESD)、肝細胞がんに対するラジオ波焼灼術(RFA)を全国に先駆けて導入、その診療技術の確かさにより他府県からも多数の患者さんが紹介され、全国でも有数の診療実績を誇ります。

また、難治性の疾患である炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病など)領域においても、専門外来を設けて、日本トップクラスの診療を展開しています。2016年7月には北野教授が着任。胆道・膵臓疾患についても、内視鏡・超音波を用いた新規治療技術の開発に力を注いで居ります。特に、超音波内視鏡(EUS)を用いた膵臓がん・胆道がんの早期診断技術、EUSを用いた瘻孔形成術は、近畿地方でも限られた施設のみが行っている現状があり、他院で内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)が不成功であった閉塞性黄疸、急性膵炎後の被包化膵壊死(WON)にも積極的に対応しています。

### 《はじめに》

消化器内科では、熱い志を持った多様な人材を求めています。医師としての初期研修を終えられる先生方には、次の目標があるでしょう。公立病院の中核医師として、また、開業医として地域医療を支えるという目標を掲げる先生も、

海外留学をしたい先生も、最先端診療を極めたい先生も、研究者を目指す先生も居られるでしょう。私たちは、そうした先生方の夢をかなえるために全力でサポートしたいと思っています。消化器内科は、扱う臓器が多く、手技も多い診療科であり、チーム医療、フットワークの軽い姿勢が必要です。きちんと診断し治療する事で、自分達の努力によって、患者さんの状態が軽快していく充実感、達成感が得られますし、何より、仲間と共に仕事をするやりがいは、何ものにも代え難いものがあります。

### 《目標と支援体制》

消化器内科診療の基本を修得するのが目標です。当科では、後期研修が効率と効果の両面から十分に満足レベルに達するような研修支援体制を構築しています。具体的には、入院診療をはじめとして、外来、検査、当直のすべての業務に上級医によるバックアップ体制を完備しています。またテーマ毎のセミナーや講義も頻回に開催されます。消化器の多様な疾患に触れながら、効率よく経験と深く学ぶ事が出来ます。また、医療安全の観点からも、優れた体制であると自負しています。

### 《プログラム》

3年目および3年目は、消化器全般の知識と診療技術を身につける時期です。大学病院を中心に、病棟業務や上部及び下部消化管のスクリーニング内視鏡検査、エコー検査等を担当します。5-6年目は専門知識を深めながら手技に習熟する時期です。大学病院や関連病院を中心に、病棟業務の中核として、また内視鏡的止血術や逆行性胆管膵管造影検査(ERCP)、超音波ガイド下肝生検など侵襲度のより高い検査・処置にも取り組むようになります。7-8年目以降は、個人の興味や目標に応じて、段階的に、専門分野の知識を探求・最先端医療に取り組めます。内視鏡的乳頭切開術(EST)や胆管ステント留置術、粘膜下層切開剥離術(ESD)、静脈瘤効果療法(EIS)などに挑むことになります。

専門医資格の取得も積極的に勧めています。現行の制度では、4年目に内科認定医を取得後、7-8年目以降に消化器病専門医、消化器内視鏡専門医を基本に、超音波専門医、肝臓専門医等の資格を取得しています。

学会発表や論文発表も積極的に奨励しています。3-4年目は地方会での症例報告、5-6年目は全国学会、7年目以降は臨床研究に主体的に取り組み、論文発表を目指します。この中で、大学院に進学し、医学博士を取得します。

当科の主な関連病院は、和歌山ろうさい病院、日高総合病院、野上厚生病院、橋本市民病院、南和歌山医療センターなどです。

海外留学先として、米国、オーストラリア、フランス、ドイツの有名な大学があります。いずれも臨床医としての留学であり、世界の消化器内科医との交流により、国際的な視野を持ってほしいと願っています。

また、280人超の同門会員も心強く支えています。

### 《スタッフ》

教授 北野雅之

准教授 加藤順 玉井秀幸

講師 井口幹崇 前北隆雄

助教 新垣直樹 森畠康策 前田義政 井田良幸 吉田岳市 糸永昌弘 深津和弘

学内助教 白井聖一 田村崇 奴田絢也 吉田悟 伊藤大策 清水遼 津田早耶 村上麻友 瀧真也 木下淳 桑島史明